

本組合のごみ処理状況

1. 排出量について

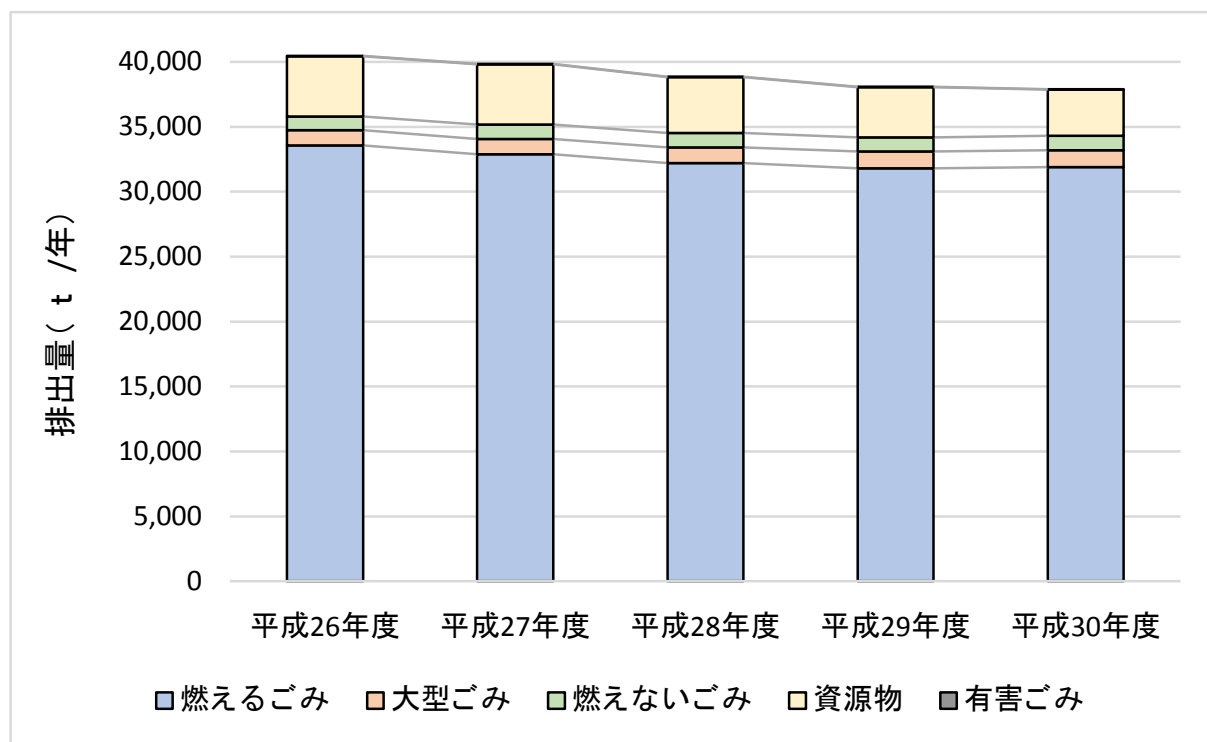
過去5年間の大牟田市、荒尾市のごみ排出量実績を次に示す。

(1) ごみ排出量（大牟田市）

大牟田市					
単位：t/年					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
燃えるごみ	33,558	32,897	32,200	31,815	31,887
増減率	100%	98%	96%	95%	95%
大型ごみ	1,195	1,177	1,221	1,283	1,306
増減率	100%	98%	102%	107%	109%
燃えないごみ	1,051	1,121	1,117	1,106	1,112
増減率	100%	107%	106%	105%	106%
資源物	4,629	4,624	4,300	3,854	3,579
増減率	100%	100%	93%	83%	77%
有害ごみ	36	35	35	34	32
増減率	100%	97%	97%	94%	89%
合計	40,469	39,854	38,873	38,092	37,916
増減率	100%	98%	96%	94%	94%

※増減率は平成26年度を100とした場合の割合。

燃えるごみは、平成26年度以降減少傾向であったが、平成29年度から横ばいである。  
 大型ごみと燃えないごみは、平成26年度以降増加傾向である。  
 資源物は、平成26年度以降、減少傾向である。



出典：大牟田市ごみ処理基本計画（令和元年12月）

(2) ごみ排出量（荒尾市）

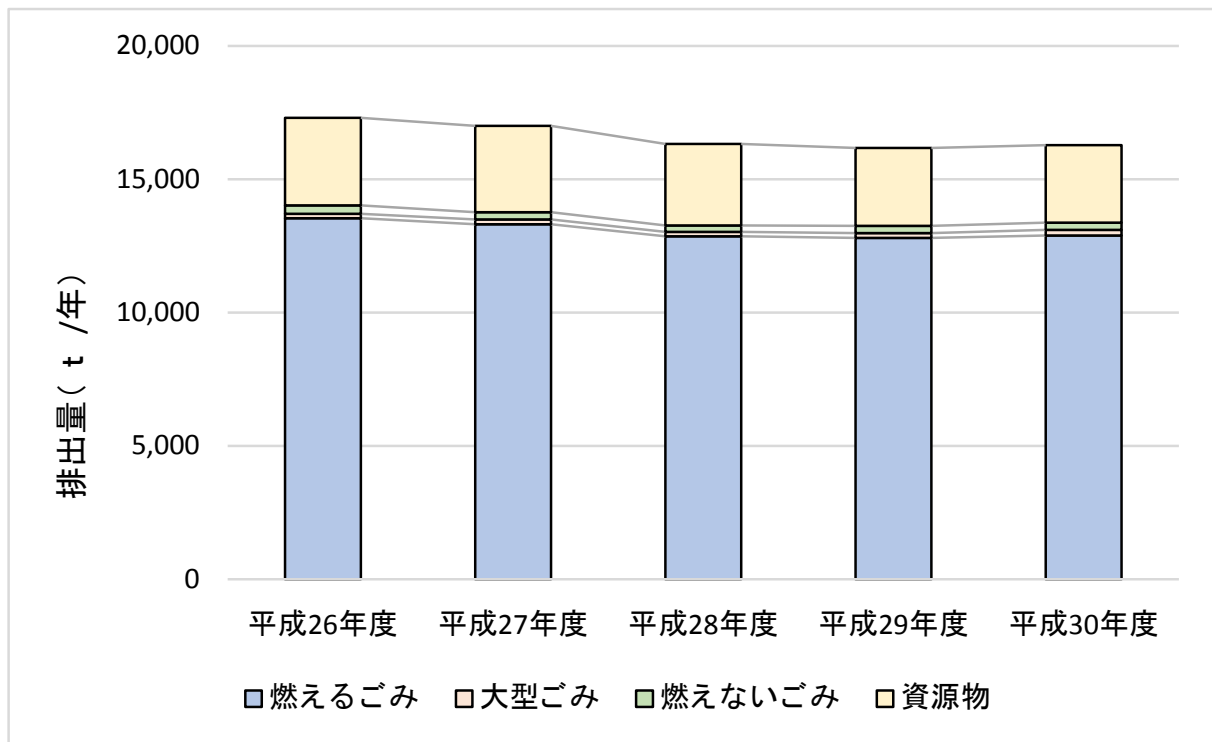
荒尾市

単位：t/年

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
燃えるごみ	13,536	13,318	12,858	12,796	12,896
増減率	100%	98%	95%	95%	95%
大型ごみ	174	172	168	184	200
増減率	100%	99%	97%	106%	115%
燃えないごみ	313	276	244	278	284
増減率	100%	88%	78%	89%	91%
資源物	3,284	3,239	3,059	2,920	2,907
増減率	100%	99%	93%	89%	89%
合計	17,307	17,005	16,329	16,178	16,287
増減率	100%	98%	94%	93%	94%

※増減率は平成26年度を100とした場合の割合。

燃えるごみは、平成26年度以降減少傾向であるが、平成28年度から横ばいである。  
 大型ごみは、平成29年度、平成30年度において増加傾向を示している。  
 燃えないごみと資源物は、平成26年度以降減少傾向である。



出典：第4次荒尾市ごみ処理基本計画（令和2年3月）

## 2. 資源化量、最終処分量について

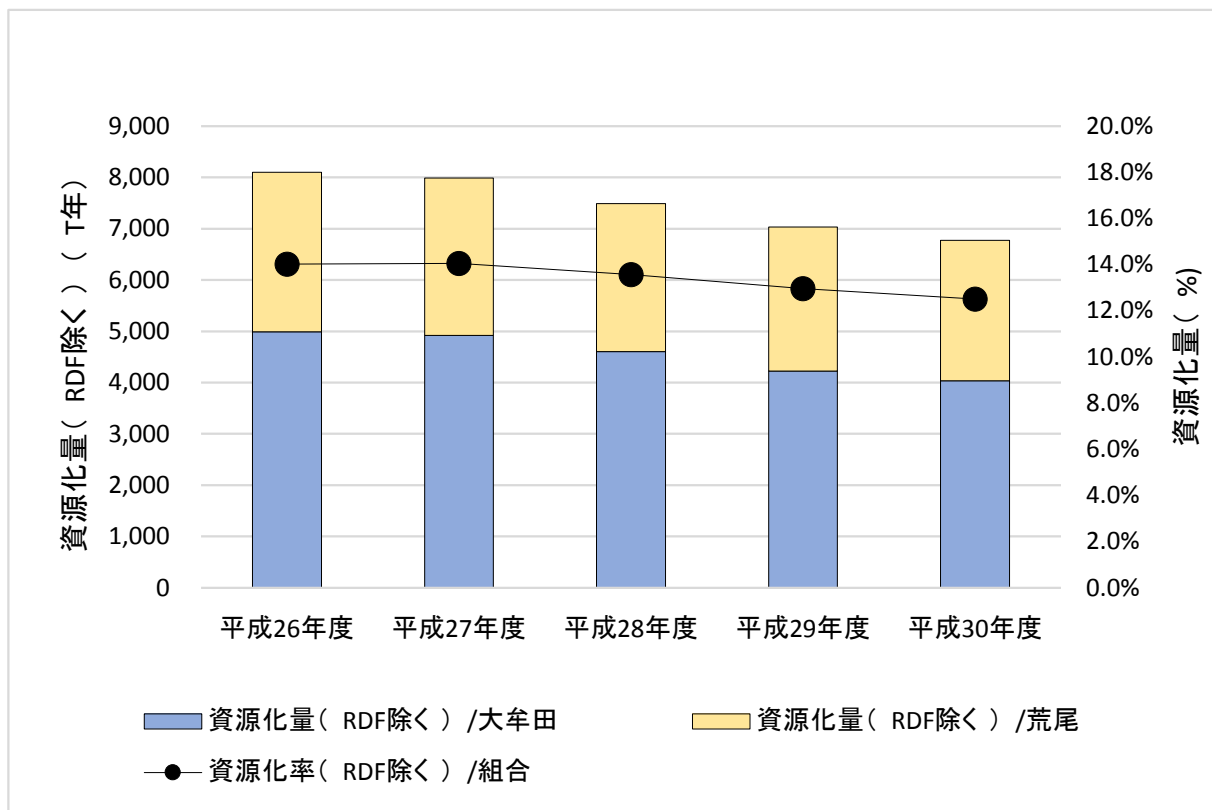
各市ごみ処理基本計画の過去5年間のデータ（平成26年度から平成30年度）から資源化量、最終処分量を整理した。

### (1) 資源化量について（大牟田市、荒尾市）

資源化量(RDFを除く)					
	単位：t/年				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大牟田市	4,987	4,923	4,602	4,223	4,036
荒尾市	3,111	3,065	2,890	2,810	2,740
合計	8,098	7,988	7,492	7,033	6,776
資源化率	14.0%	14.0%	13.6%	13.0%	12.5%

※資源化率＝資源化量÷総ごみ排出量

RDFを除く資源化量は減少傾向であり、平成30年度では6,776t/年である。  
両市の資源化量をもとに算出した資源化率<sup>\*1</sup>は、平成30年度では12.5%である。



出典：大牟田市ごみ処理基本計画（令和元年12月）、第4次荒尾市ごみ処理基本計画（令和2年3月）

#### （備考）

大牟田市資源化量は、燃えないごみとして回収された金属類、有害ごみとして回収された電池・蛍光灯などがリサイクルプラザ処理後資源化物として加算されるため、1. (1) の大牟田市ごみ排出量の資源物量よりも多い。

荒尾資源化量は、回収された資源ごみを荒尾リサイクルセンターでの残渣量が引算されているため、1. (2) の荒尾市ごみ排出量よりも少ない。

- ・資源物量：資源物として回収された量
- ・資源化量：直接資源化および中間処理を経て資源化された量

(2) 最終処分量について（大牟田市、荒尾市）

最終処分量

単位：t/年

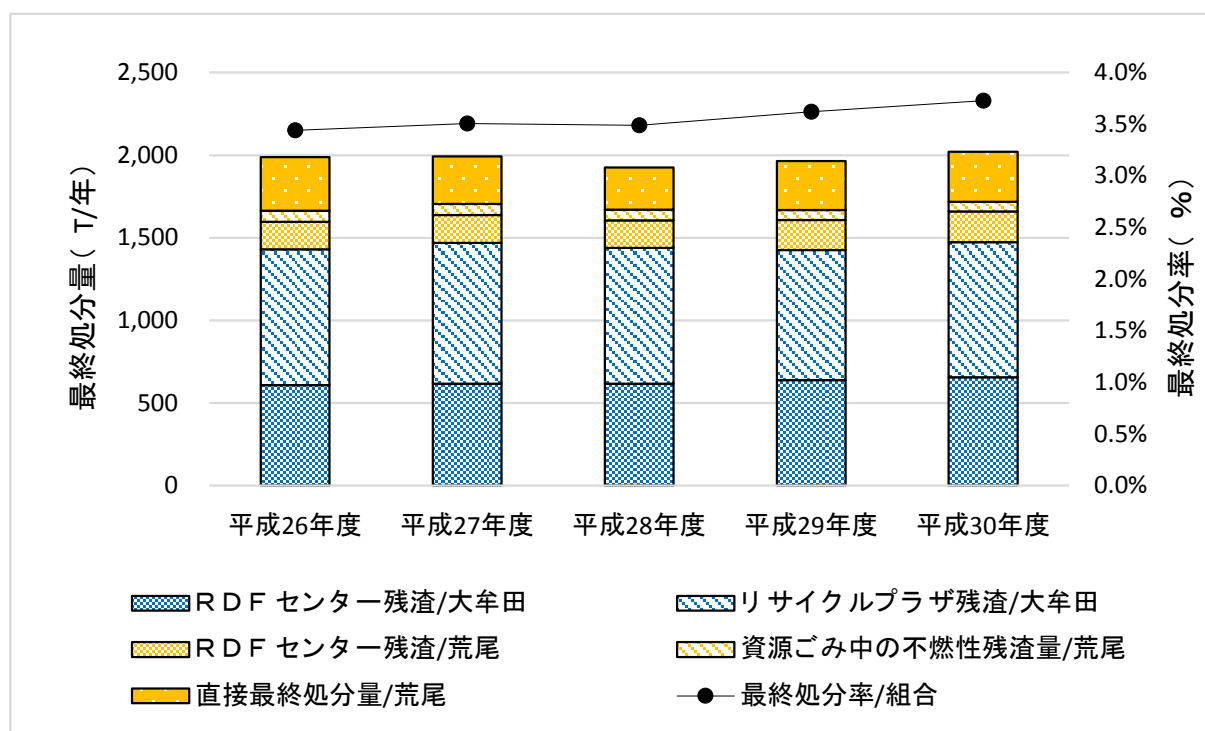
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
RDFセンター残渣/大牟田	608	617	617	638	656
リサイクルプラザ残渣/大牟田	822	852	821	789	818
RDFセンター残渣/荒尾	167	170	168	180	186
資源ごみ中の不燃性残渣量/荒尾	66	65	64	61	59
直接最終処分量/荒尾	325	289	256	296	302
合計	1,988	1,993	1,926	1,964	2,021
最終処分率	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%	3.7%

※最終処分率＝最終処分量÷総ごみ排出量

最終処分量は、概ね 2000t 前後で推移している。

両市の最終処分量をもとに算出した最終処分率<sup>※2</sup>は、3.5%前後で推移している。

なお、RDF 発電での焼却灰、不燃物の量は、本表図に含まれていない。



出典：大牟田市ごみ処理基本計画（令和元年12月）、第4次荒尾市ごみ処理基本計画（令和2年3月）